



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会 長：田中 隆義
幹 事：加納 裕
クラブ委員長：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日PM12:30～
例 会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
EMAIL：2760nagoya@mizuho-rcj.jp
URL：http://www.mizuho-rcj.jp/

第1479回例会

～職業奉仕月間・米山月間～
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年10月28日(木) 曇 第16回

職場例会
トヨタホーム春日井工場

司 会：大嶽達郎会場副委員長
斉 唱：「日も風も星も」

会長挨拶

田中隆義会長

皆さんこんにちは。今日は職場例会です。「トヨタホーム春日井工場」に訪問させていただくことになりました。松岡職業奉仕委員長はじめ皆さんにお世話になりました。ありがとうございます。



先日の新聞にトヨタホーム、森岡仙太社長のインタビューが掲載されていました。それによりますと、トヨタ自動車が2012年までに予定する家庭での充電を前提にした車「プラグイン・ハイブリッド車」の販売に合わせ、エコカー充電器の住宅への設置事業に乗り出す方針を明らかにしたとのこと。時代の変化により、マイホームも進歩しているようです。今日は進歩していく過程を教えていただけるものと思います。どうかよろしく願いいたします。

幹事報告

加納 裕幹事

・次週11月4日(木)11時よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第2回クラブ奉仕委員会を、12時30分よりヒルトン名古屋4階「竹園の間」にて臨時クラブフォーラムを、13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第5回理事会を開催致します。

出席報告

鈴木淑久出席副委員長

会員66名 出席39名 (出席計算人数53名)

出席率 65.0% 10月21日は補填により 91.7%

ニコボックス

鈴木淑久ニコボックス副委員長

・10月も終わりになり急に寒くなりました。まだ夏服のままいたら風邪をひきました。風邪に気をつけましょう。

稲葉 徹さん

・昨日久しぶりに楽しいゴルフをしました。18番、堀さんのパーパットのお蔭で大難が小難になりました。

関谷 俊征さん

・昨日は内田さんと関谷さんにとってもお世話になりました。

堀 慎治さん

・職場例会、バス組遅れてすみません。よろしく願い致します。

松岡 道弘さん

- ・松岡委員長ご苦労様です。 天野 正明さん
- ・職場例会お世話になります。 田中 隆義さん
- ・職業奉仕委員会の皆様、本日はご苦労様です。

大嶽 達郎さん 松井 善則さん 長瀬憲八郎さん
 稲垣 豊さん 内田 久利さん 泉 憲一さん
 平野哲始郎さん 岩田 吉廣さん 高須 洋志さん
 田中 政雄さん 亀井 直人さん 鈴木 圓三さん
 山田 鎮浩さん 嶺木 一夫さん 伊藤 豪さん
 岡本 忠史さん 梅村 昌孝さん 佐藤 善乙さん
 市岡 正蔵さん 鈴木 淑久さん

職場訪問

職業奉仕委員会：松岡道弘委員長

今回の職場例会の目的は住宅産業を通して集約された先端技術を見学し、開発に関わる企業の姿勢、倫理観、夢などを身近に体験していただくことです。今回、泉副委員長のご紹介によりトヨタホームさんでの職場例会が実現しました。この場を借りて御礼申し上げます。また事務局にも色々ご迷惑おかけしましたが、今日こうして無事開催できますことを感謝しております。

それでは本日の予定を申し上げます。隣の部屋に食事が用意されておりますのでこれから昼食をとっていただきます。12時45分にガイダンスが始まり、その後2班に分かれて工場を見学させていただきます。14時05分には終わる予定ですので、終わった時点で解散という流れとなります。ご協力よろしくお願い致します。

例会風景



会長挨拶



トヨタホーム春日井工場 柴田さん

GSEの新境地を開く

「車椅子を利用していても健常者と同じことができると証明したかった」

こう話すのは、ロータリーで初となる車椅子利用者のみによる研究グループ交換(GSE)に参加したロブ・マーティンさんです。

2009年に実施されたこのGSEのアイデアは、チャーリー・テガーデン第5490地区ガバナー(2008-09年度)が、2年前にダロル・クバツさんと空港で交わした会話がきっかけでした。両氏は、恵まれない人々に車椅子を提供するというロータリーのプロジェクトを終えてメキシコから帰る途中でした。自身も車椅子を利用するクバツさんは、ロータリーの活動に関心を抱きました。そこでテガーデンさんがロータリーについて説明しました。

「そのうち会話が研究グループ交換に向けられました」と振り返るテガーデンさん。「私は、GSEの素晴らしさについて説明しながら、クバツさんのような人がGSEに参加できないことを残念に思っていました。旅行することは不可能だと思っていたのです。しかし、実際クバツさんは、私とともにメキシコシティの空港にいるではありませんか。そのとき、GSEにも参加できないはずがないと気がついたのです」

今回の交換によって、地区の姿勢は完全に変わりました」
ハロルド・シャープ

車椅子のGSEチームの受け入れを決心したテガーデンさんは、ユタ州ソルトレークシティで開かれた2007年RI国際大会で出会ったトニー・キャスレイ第9680地区ガバナー(2008-09年度)と協力することになりました。そしてハロルド・シャープ元地区ガ

バナー(第9680地区)とドン・シラーさん(第5490地区)が交換の計画にあたり、アイデアが実現したのです。現在、フェニックス・ウエスト・ロータリー・クラブの会員となったクバツさんが、アリゾナGSEチームのリーダーを務めました。

参加者全員が車椅子に乗ったGSEに、始めは難色を見せるロータリアンもいました。それは障害のある人は「一人で生活や旅行をしたり、常勤の仕事に就くことができない」という先入観があったから、と話すシャープさんは、クロウズ・ネスト・ロータリー・クラブ(オーストラリア、ニューサウスウェールズ州)の会員でGSEの共同委員長を務めました。「今回の交換によって、地区の姿勢は完全に変わりました」

「アリゾナでは、現在、障害者にも機会を提供しています」と、ブレスコット・サンアップ・ロータリー・クラブの会員で、地区GSE委員長を務めるシラー氏は話します。

「今後は、障害者もほかの人々と同様にGSEチームに参加していくことになるでしょう」



第9680地区(オーストラリア、ニューサウスウェールズ州)と第5490地区(米 国アリゾナ州)から派遣されたロータリーで初の車椅子利用者のみによるGSE チーム。ロータリアン、政府関係者とともに。

奨学生の募集は長期的に計画を

地区の派遣したロータリー世界平和フェローやロータリー財団国際親善奨学生が、世界でロータリーの理想を実践し始めたときほど誇らしい瞬間はありません。しかし、優秀な候補者を探すのには、継続的かつ長期的な努力が必要です。

ガドマンダー・ハラッドソンさんがロータリー世界平和フェローシップ小委員長を務める第1360地区(アイスランド)は、定期的に地元の大学や人道的援助団体と直接連絡を取っています。またアイスランドの新聞2紙に広告を出したほか、元フェローには、候補者へのアドバイスや教育、候補者の推薦といった面で協力してもらっています。

「学生が良い学業成績を収めていること、そして、人道的援助の経験と意欲があることを重視している」とハラッドソンさん。これは2年間の修士課程プログラムで学ぶ平和フェローには、特に重要な要素です。

第5890地区(米国テキサス州)は継続的な募集活動により、これまで10年以上にわたり、計36名の国際親善奨学生を派遣してきました。地区奨学金小委員長のビル・バーモアさんは、この功績を、人伝への評判と継続的な関係作りによるところが大きいと言います。

「毎年、地元の大学でプログラムを広めてくれるような知り合いがいらないか、委員に尋ねます」と話すバーモアさん。委員会はまた、奨学金の資料一式を地区内のすべてのロータリー・クラブに送付しています。

第5890地区は、ローターアクト・クラブにも候補者の募集を手伝ってもらい、元国際親善奨学生には、クラブや大学で自らの体験を話すよう奨励しています。こうした努力がプログラムへの関心を集める上で功を奏しています。プログラムは現在、1年間の奨学金のみを提供しています。

候補者を絞る際には、候補者について知るだけでなく、ロータリアンとの接し方を観察できる面接がいい、と話すのは、第6440地区(米国イリノイ州)の奨学金小委員長、リンダ・ラッツさんです。

また、例えば、留学の前後もロータリアンの広いネットワークがフェローや奨学生を支えるなど、ロータリーのプログラムのユニークな利点を強調することも勧めています。「これはほかの奨学金制度にない大きな魅力」とラッツさんは指摘します。



第1360地区(アイスランド)から派遣されたロータリー世界平和フェロー、ロア・マグナスドットイルさんは、2月、ヨルダン川西岸にあるユニセフの学習センターで平和教育を行いました。現在は、世界各地のユニセフと協力し、人道的援助を提供するアイスランド危機対応部隊で働いています。

例会のご案内

- 今週の卓話 11月4日(木)
卓話講師: 愛知県瑞穂警察署長 梅村昭夫さん
テ — マ: 瑞穂区の治安情勢について考える
- 次週の卓話 11月11日(木)
会員卓話: 杉村建二さん、高木元明さん
テ — マ: 新入会員イニシエーションスピーチ
- 次々週卓話 11月18日(木)
会員卓話: 西沢功晋さん
テ — マ: 新入会員イニシエーションスピーチ